

第1回ワークショップ

工学のモノの見方・考え方を理解する

2017年

8月19日 土 13:00-18:00

会場：東京大学医学部3号館N101

対象：看護理工学研究に関心のある看護系研究者、大学院生等

参加費：無料

定員：15名（先着順）

申込締め切り：2017年7月31日（定員に達した時点で締切とさせていただきます）

看護に活かすモノを工学の研究者と一緒に作りたい！でも工学の研究者の話す用語が分からない・・・なかなかモノづくりにまで発展させることができない・・・看護理工学研究をしたいがテーマに悩んでいる・・・という経験や思いはありませんか？

このワークショップで、看護系研究・実践者が工学のものの見方・考え方を理解し、技術者へ要望を伝える際にどのようなことを考えればよいか、看護側および工学側の両方の観点から、一緒に考えてみましょう！

ワークショップの内容

(講義) 新しいものの開発の過程と用語の説明

(実習) ニーズから要求仕様(機能・構成・制約)を設定する過程の体験

ニーズの段階、連携の開始段階、を考える

目覚まし時計を分解し、機械系の学生がものの仕組みを知る過程を知る

(ディスカッション) 講義と実習の内容をふまえ、連携に必要なことを議論する

参加者懇親会

ワークショップ終了後に懇親会を予定しています！当日ワークショップをサポートして下さる工学研究者の皆様との交流を深めましょう！

お申し込み
お問い合わせ

担当者：松本 勝（東京大学大学院医学系研究科社会連携講座イメージング看護学）

E-mail：matsumotom-tky@umin.ac.jp

Tel：03-5841-3451（内線：23451）